

両河内小中学校 小中一貫教育グランドデザイン

～地域と一体となって教育に取り組む学校～

両河内地区でめざす子ども像

ふるさと両河内に誇りをもち、豊かに表現できるたくましい子



地域・保護者の願い

- ・ふるさと両河内を大切にしてほしい
 - ・様々なことに前向きに挑戦してほしい
 - ・外部の人と交流し、コミュニケーション力・発信力を付けてほしい
 - ・卒業後も発揮できる主体的に取り組む力・リーダーシップをつけてほしい
 - ・これからの時代に必要な力を付けてほしい。(英語力・ICT 活用力等)
- キーワード
- ふるさと両河内 ○挑戦する心 ○コミュニケーション力
 - 発信力 ○リーダーシップ ○英語力・ICT 活用力

学校経営の指針

第4次静岡市総合計画
第3期静岡市教育振興基本計画
静岡型小中一貫教育推進方針

学校教育目標

ふるさと両河内に誇りをもち、豊かに表現できるたくましい子

重点目標

考え 伝え合い つくりだそう

軸となる取組①

ディスカバー両河内

①地域を生かした学習

- ・自然環境に関する学習
- ・地域産業（一・二・三次）学習
- ・わさび、そば発祥の地
- ・地域防災学習（地域の一員として）
- ・ふるさと行事の実施
- ・各教科における学びの題材
(図工：造形遊び 社会：森林の役割等)
- ・両河内に伝わる昔話・祭りの伝承

②地域人材やゲストティーチャーを活用した取組

- ・地域の特徴を生かした学習や各教科等における講師協力
- ・茶摘み、お茶会、タケノコ掘り
- ・栗拾い、ここまめ作り
- ・興津川自然体験・森林保全教室
(アユの放流・アユ釣り)
- ・職場体験 ・両河内まち探検

③地域活性化プロジェクト(例)

- ・地域活性に貢献されている方の講話を聞く。実際の活動に協力、参加する。等
- ・両河内の方の努力や工夫によってお茶の生産がなされていることを実感する。
- ・お茶の栽培、製茶、袋詰め等に児童・生徒自らが関わり、お茶の良さを広く市内外へ情報発信する。

後期ステップ (7・8・9年)

- 自分らしい行い、あり方、生き方について考える
- 学校全体のリーダーとして企画・運営・外部との交渉等を行う
- 地域・他校・社会の人と関わり、地域活性に貢献する

中期ステップ (4・5・6年)

- 自分の良さを生かす
- 学級・学年を超えて学校全体の人と協力し合い、小学部のリーダーとなる
- 学校のためになることを企画・運営する

前期ステップ (1・2・3年)

- 学校生活に慣れる・楽しむ
- 「話し方」「聞き方」「書き方」等の基本を身に付ける
- 学びやコミュニケーションを楽しむ
- 失敗を恐れず挑戦することを楽しむ

まなびづくり (学習)

- ①話題や展開を捉えて聞く
- ②相手や状況に応じた言葉や表現を選んで話す
- ③自分の考えを再構築し、思いや考えを明確にして伝え合う

相手や場に応じて臨機応変に対応する力をつける後期ステップ

学習

- ①相手の思いや意図を考えて聞き取る
- ②筋道を立てて相手にわかりやすく話す
- ③お互いのよさや違いを認めながら伝え合う

他者の反応を意識してやりとりをする力をつける中期ステップ

学習

- ①正しく聞き取る
- ②相手に伝わるようにはっきり話す
- ③自分の考えや思いを進んで話す。

学び方の基本を身に付ける前期ステップ

各教科学習でコミュニケーション力を高めるために
①聞く ②話す・書く ③伝え合う

なかまづくり (特活)

- ①学校全体をまとめ、企画・運営・渉外等、学校運営や地域活動等に参画する学校リーダーとして活動する。
- ②自分の特徴や小学部での経験を生かし、学校や地域をより良くするために、仕事を行う

周りの人をひきつける力を持ち、何事にも率先して協働する力をつける後期ステップ

特活

- ① 学校リーダーに対するフォロワー意識を持ち、下級生をリードする小学部リーダーとして活動する。
- ②自分の特徴(良さ)を生かし、クラスや学校のために、仲間と工夫して仕事を行う

仲間の意見を取り入れながら、自分の考えを持ちたり伝えたりする力をつける中期ステップ

特活

- ① 小学部・学校リーダーに対するフォロワー意識を持ち、クラスや班・係等をまとめ、動かすリーダーとして活動する。
- ②自分や仲間の良さに気づき、周りの人のために、仕事を進んで活動する。

仲間の良さを認め、協力し、楽しく活動することができたりする前期ステップ

各活動・行事等でコミュニケーション力を高めるために
①リーダー育成 ②参画力

こころづくり (生活)

- ①時と場に応じた対応力や判断力など、社会で通用する力を身につける。
- ②あいさつの意義を理解し、相手意識をもったあいさつができる。

様々な立場の他者と関わるための心を育み、マナーを身につける後期ステップ

生活

- ①身につけた生活リズムをもとに、自分に必要な生活の課題を明確にもち、粘り強く取り組む力を身につける。
- ②地域に広がるあいさつ、場に応じたあいさつが自分からできる。

他学年や地域の方とコミュニケーションをとるための心を育み、マナーを身に付ける中期ステップ

生活

- ①こども園で積み重ねた経験の中からつかんだ生活リズムを定着し、基本的な日常生活習慣を身につける。
- ②校内のみんなが元気になるあいさつを広げる。

上級生や周りの人とコミュニケーションをとるための心を育み、マナーを身に付ける前期ステップ

生活・コミュニケーションの基盤をつくるために
①他と関わる場 ②あいさつ

英語力

- 英語を活用し、様々な人とコミュニケーションを図る。
- 日常的な話題や社会問題を英語で理解し、簡単な英語で意見を伝え合う。
- 目的・場面・状況を理解し、相手意識をもって英語で表現し合う。

英語力

- 身近な事柄について先生や友達と基本的な表現を用いて伝え合う。
- 日本と外国の文化を比べて、互いの良さを知る。
- 簡単な英語(文)で自分のことを伝える。

英語力

- 簡単な単語を使って、外国語に親しむ。
- 音楽やリズムに合わせて、身体を使いながら英語に親しむ。

ICT 活用力

- ①ICT を適切かつ主体的・積極的に活用し表現する。
- ②伝えたいことをICT で受け手を意識しながら様々な資料を作成する。
- ③ICT を使って地域・他校・社会の人とコミュニケーションをとる。

ICT 活用力

- ①目的や必要に応じてICT を選択し表現する。
- ②伝えたいことをICT で学習のまとめや新聞等を作成する。
- ③ICT を使って学校内外の人とコミュニケーションをとる。

ICT 活用力

- ①ICT に慣れる。ICT で表現することを楽しむ。
- ②伝えたいことをICT で絵や写真、短い文を使い表現することを楽しむ。
- ③ICT を使って身近な人とコミュニケーションをとることを楽しむ。

軸となる取組②

コミュニケーション力の育成

- ①各教科等におけるコミュニケーション力の育成
 - ・ICT等の様々なツールを子ども自らが選択し活用する「伝える力」の育成
 - ・「English Day」「English Café」の実施、多国籍言語体験
 - ・交流スペースにおける、学びの発信(地域活性プロジェクト)

②異学年間における交流

- ・特別活動を中心とした、リーダー育成(前・中・後期段階的)

③様々な学校との交流の実施

- ・他校(県内外)との交流
- ・ICTを活用した遠隔学校間交流

④外部協力者(プロフェッショナル・企業・専門家)との交流

- ・救急法講習会
- ・放課後こども教室
(○○教室・みんなで遊ぼう)
- ・ゲストティーチャー交流学習

⑤外部への発信

- ・学校ホームページでの発信や、ICT機器を活用しての他校、地域等との交流